事務局長談話７

～年末･年始を無災害で！思いを込めて｢ご安全に｣の声掛けを！！～

ご安全に！第 11 期後半年も早３か月が経過しました。第 20 回定期中間大会で決定いただいた活動方針に基づく諸活動・取り組みの推進にあたり、加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんには、ご理解・ご協力、そして積極的な参加をいただいております。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、在宅勤務をはじめとするテレワークなど、これまでにない働き方へ対応されている加盟組合・構成組織の組合員の皆さん、とりわけコロナ禍で非常に厳しい環境下にあっても献身的に職務に従事されている組合員を含めた病院関係者の皆さんをはじめ、それぞれの持ち場・立場でのご奮闘に心から敬意と感謝を表するところであります。

さて、第 11 期後半年の活動方針では、「仲間の安全と健康を確保することがすべての活動の基盤」であり、「安全で安心して働くことのできる職場の構築と心身ともの健康を維持するための対策に積極的に取り組む」としています。

そのもとで、前期に計画したものの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった総合組合を対象とした「安全衛生活動労使合同研修会」を 11 月 15 日に開催しました。当日は、労使合わせて 29 名に参加いただき、厚生労働省、西日本旅客鉄道、日本鉄鋼連盟に講師をお願いし、それぞれの立場から労働災害防止、安全の取り組みなどについてご講演いただきました。とりわけ、2005 年４月 25 日に発生した福知山線列車事故を教訓とした西日本旅客鉄道のご講演は、異業種ではありますが、組織全体で安全を確保する仕組みづくりや安全最優先の風土構築の取り組みは大変参考になりました。同業のみならず異業種における取り組みなどの講演を聞く機会があれば、積極的に労使で参加されてみるのも良いかと思います。

本年、基幹労連では、足もと報告ベースも含め 10 件 12 人の尊い命を失っています。大切な仲間が、幸せを育むための働く職場で突然命を失う、こんな辛く悲しいことはありません。尊い教訓である災害事例を積極的に労使で共有・活用し、災害撲滅・類似災害防止に向けた取り組み・活動の展開をお願い致します。

今年もコロナ禍での年末・年始となりますが、10 月以降、再び感染者が増加に転じています。引き続き、感染拡大防止対策を取りながら、無事に新年を迎えられるよう心から願うばかりです。

年末・年始を無災害で乗り切ること、そして自身はもとより仲間と家族の安全と健康を願い、思いを込めて「ご安全に！」の声掛けをお願いします。

2022 年 12 月 21 日

日本基幹産業労働組合連合会
事務局長　津村　正男